



高崎市議会



SHINPU KAIHO

令和6年冬号

発行所 高崎市議会新風会広報局
発行責任 新風会広報局
〒370-8501 群馬県高崎市高松町35番地1
新風会ホームページ
http://www.shinpukai.com/

一般会計補正予算(第6号)歳出内訳 (単位:千円)

Table with 4 columns: Item, 補正前の額, 補正額, 計. Rows include 議会費, 総務費, 民生費, 衛生費, 労働費, 農林水産業費, 商工費, 土木費, 教育費, 災害復旧費, 歳出合計.

11月30日から12月15日まで16日間、令和5年度第5回定例会が開催されました。本会議では報告1件、承認2件、議案37件と、請願3件などが審議され、議案については全て原案可決、請願3件は不採択となりました。議案等の主な内容は次の通りです。

- 議案第121号から130号
公の施設の指定管理者の指定
高崎アリーナ、群馬音楽センター、清水善造メモリアルテニスコートなど59施設
議案第143号
一般会計補正予算(第6号)
37億6,431万円
職員人件費や電気料などのほか、主に次の項目が補正されました。
*ウクライナ選手団受入事業委託料 2,500万円
*榛名体育館アリーナ照明改修工事 500万円
*市税還付金及び還付加算金 3,000万円
*社会保障・税番号制度システム整備委託料 2,059万円

12月定例会のご報告

新風会からのごあいさつ
あけましておめでとうございませう
新風会は2024年も高崎市の発展・市民の皆様の幸せのために全力でがんばります
今年もどうぞ宜しくお願い致します

- *子ども・母子家庭等・父子家庭・重度心身障害者医療費助成扶助費 2億7,516万円
*子育てSOSサービス事業委託料 110万円
*母子生活支援施設入所負担金 2,000万円
*高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 490万円
*子宮頸がん個別予防接種委託料 1億696万円
*インフルエンザ任意予防接種扶助費 1億2,400万円
*小児慢性特定疾病医療費支給事業 3,222万円
*高浜クリーンセンター建設事業 15億2,000万円
*農業災害対策補助金 500万円
*被災農業者向け復旧支援事業補助金 1,200万円
*道路新設改良舗装工事 5,000万円
*橋りょう長寿命化工事 2,630万円
*橋りょう耐震補強工事 4,200万円
*スマートIC周辺遺跡発掘調査事業 1,900万円

議案第150号
一般会計補正予算(第7号)
*低所得世帯支援特別給付金給付事業(エネルギー、食料品など物価高騰に対応して住民税非課税世帯に7万円を支給します)
26億7,727万円

帯状疱疹ワクチンの接種費用の助成が来年度からスタート予定
新風会に届く要望の中でも、たくさんのお声をいただいたのが「帯状疱疹ワクチンの接種費用の助成」について。新風会では市長要望をはじめ、実現に向けて声を上げてきましたが、いよいよ令和6年度予算に盛り込まれる事になりました。正式な決定は3月定例会での議決後ですが、「満50歳以上の市民」および「帯状疱疹に罹患するリスクが高いと考えられる満18歳以上の市民(高リスク者)」を対象に接種費用の約半分にあたる金額を助成します。事業開始は令和6年4月1日を予定。
スマートバス導入へ
職場環境改善の一環で本市でもスマートバスが開始となりました。全職員を対象に軽装勤務を通常で認め、議員もそれに倣い場面に応じた服装で公務にあたっていきます。数年前より、当会派の議員からも先進的取り組みとして要望がなされており、ようやく叶った形となりました。今後も、本市職員の職場環境改善や、時代の流れに即した提言を会派としても積極的に発信していきます。
和田橋近くのレストハウス
烏川左岸に建設予定のレストハウスの設計業務の受託候補事業者が決まりました。外観はフルツバスケットを重ねたイメージをベースにどの方向から見ても美しいシルエットとなるシンボリックな形状。高崎産フルーツなど、高崎の食文化の更なるブランド化や県内外へ広くPRするランドマークとして魅力ある外観。建設工事は2025年度の完成を目指します。外構工事費を含んだ概算建設工費は約5億円を見込んでいます。新風会では以前から新年度予算施策要望の際に市当局に要望してきました。



レストハウスの完成イメージ

来年度から広報のデジタル版がスタートします!
2024年4月より高崎市広報のデジタル版がスタートします。紙面版は今までの月2回から1回へ集約し、デジタル版では紙面で取り上げた内容を映像や画像でさらにわかりやすくお届け予定です。高崎市LINE公式アカウントを友達登録していただくと、情報を素早くお届けできます。ぜひ、下記2次元コードから友だち追加をお願いします。
QRコード

令和6年度の予算・施策要望



新風会から富岡賢治市長に89項目の「令和6年度の予算および施策要望」を行ったことについては、前回の新風会報でお伝えした通りですが、今回は具体的にその主な内容をお知らせいたします。

- 農林業振興(荒廃農地対策や農地集約事業の推進並びに後継者・新規就農者への更なる支援)
○ スマートビズの推奨(行事や式典は状況に応じて対応)
○ 議会並びに行政でのデジタル化の促進(タブレットの導入)
○ 市内河川流域の治水・安全対策
○ 本市の区画整理事業の促進(倉賀野駅北・高崎操車場跡地ほか)
○ 城東グラウンドゴルフ場に防災拠点となるクラブハウスの建設
○ おとしよりぐるりんタクシーのルート分割や軽微なルート変更(倉瀨・榛名・箕郷・吉井地域)
○ 带状疱疹治療費の補助金給付
○ 吉井地域への新規工業団地(用地)の選定及び分譲
○ 旧堤ヶ岡飛行場跡地の21世紀プロジェクトの推進
○ 南八幡京ヶ島線の早期整備
○ 豊岡新駅並びに経大大橋の早期完成
○ 高崎インターチェンジ周辺の農地及び不耕作地の有効利用
○ 桜山小学校区への公民館設置促進
○ 岩鼻小学校区公民館の改築
○ 学校図書館の図書購入予算の拡充
○ 小中学校の紫外線対策充実(日傘・サンングラス等)
○ 新町支所の改築
○ 浜川運動公園拡張整備に伴うアクセス道路の拡張促進と周辺の交通渋滞の解消
○ 西毛広域幹線道路体験型道の駅設置
○ 吉井方面隊詰所の改築
○ 榛名文化会館(エコーホール)の空調設備更新に向けての調査費計上

▼市長へ要望した89項目はこちらの2次元コードよりご確認ください。



本市ゆかりの国会議員へ会派要望提出

令和5年11月2日会派要望の提出のため自民党本部及び各国会議員事務所を訪問した。会派からの要望事項は以下の通り。

- 1. 豊岡新駅、豊岡大橋の早期着工
2. 市内河川の未堤防区間の堤防早期完成
3. 堤ヶ丘飛行場跡地の有効活用
4. その他高崎市の要望事項の早期実現

今後皆様からのご意見集約し、会派として各要望事項の早期実現に向け働きかけを行ってまいります。



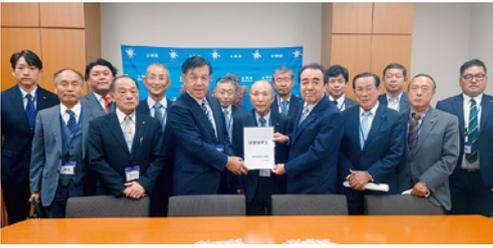
衆議院議員 小淵優子様



参議院議員 清水真人様



衆議院議員 福田達夫様



衆議院議員 福重隆浩様



参議院議員 中曽根弘文 事務所様

「どっしる家康」に登場した井伊直政公と箕輪城と高崎

令和5年のNHK大河ドラマ「どっしる家康」では、家康を支える家臣の四天王の一人として井伊直政が登場する場面がありました。この井伊直政は、高崎市と関わりが深く、天正18(1590)年、家康が国替えになり、江戸城を居城にすると、直政は家臣中最高額の12万石で箕輪城の城主に任じられました。直政は箕輪城に入ると、城の改修や城下町の整備に取り掛かり、関東地方有数の城下町としてにぎわったと言われています。

しかし慶長3(1598)年、直政は箕輪城から南の和田の地に新たに高崎城を築城し、街を移転しました。

城の移転に伴い現在も箕輪町に残る連雀町、田町、紺屋町、鍛冶町などの地名も高崎にそのまま移し、職人や商人の街になりました。また多くのお寺も移転し、新たな城下町が整備されました。このように高崎のまちづくりを始めた人物それが井伊直政です。

さて現在、箕輪城は市によって駐車場やトイレ、復元された門や橋が整備され、県内外から多くの

総合防災訓練

令和5年11月18日、新町防災アリーナで、令和5年度高崎市総合防災訓練が行われました(隔年開催)。



出場は、高崎市等広域消防局、陸上自衛隊第12後方支援隊、高崎市消防団、群馬県防災航空センター、群馬県警察本部警備部機動隊をはじめ、上下水道・ガス・電気・ラジオなど



方が訪れる文化観光の場となっています。

ここ箕輪城では毎年、本丸を舞台に地元住民により、「箕輪城まつり」が開催され、今年21回目を数え、富岡賢治市長には井伊直政の甲冑を着てご参加いただき、盛り上げいただきました。また先日、井伊直政に関する講演会も箕輪公民館で開催され、多くの参加者でにぎわいました。

これからも市民の皆様には、箕輪城とともに井伊直政や長野業政など歴代城主についても関心を持っていただければありがたいです。

のライフライン関係事業者、建設・設備事業者など、36団体が参加しました。

水害を想定した訓練で、地元住民が避難所に指定された新町防災アリーナに徒歩移動し、屋外スロープで2階に避難しました。屋上に避難した被災者を県の防災ヘリコプターがホイストという吊り上げ器材で救助する訓練も行われました(写真)。

初めて総合防災訓練を見た市民は「高崎市ではこんなに大掛かりな訓練をきちんとやっているんですね」と感心していました。

一般質問

執：執行部答弁 議：議員発言

※以下、質問順で掲載しております。こちらに掲載している内容は、質問と答弁の一部です。全文および録画配信が高崎市議会ホームページにて随時アップされますので、そちらも是非ご覧くださいませ。

録画配信 全文掲載



http://takasaki.gijiroku.com/voices/g07_Shitsumon.asp



後閑 賢二

消防団について

議 団員の欠員状況と原因は。

執 条例定数1520人のところ、実員が1248人で欠員272人である。原因は、少子高齢化による若年層の減少や就業構造、価値観の変化により団員の確保が困難となっていることである。

議 ポンプ車要員の確保と任務、現状について。

執 詰所の近隣に居住する団員を優先確保。任務は火災現場までの緊急走行や常備消防との連携など多岐にわたり、消防団活動の要である。

議 ポンプ車要員の任務に見合った報酬・手当は。

執 年額4万4千円を個人口座へ消防団報酬として支給し、手当は出場等交付金として団員階級で一人当たり3万3千円が分団口座へ支給され、ポンプ車要員手当に含まれている。更なる処遇改善に努める。

議 消防団である市職員の人事異動での配慮は。

執 消防団活動をはじめとした地域活動へ積極的な働きかけを行うとともに、活動に参加しやすくなるように配慮しながら適切な人事配置に努めたい。



根岸 赴夫

学校教育の課題について

子どもたちの個性や能力を伸ばす本市の取り組みは。

自分や友達の個性を尊重し、多様な人々と個性を生かしながら学びあうこと、また、教職員はICT教育を活用しながら、個に応じた指導や他者と協働する中で一人一人の良い点や可能性を生かした指導を行うよう努めている。

将来的に社会を支える人材を育てるために、どのような教育を行っているのか。

各教科の授業や社会科学見学等の校外学習、また、職場体験学習のやるベンチャー等キャリア教育を通じて、生涯学び続ける意欲や社会人としての基礎的資質・能力の育成を図っている。

教育長の取り組みや基本的なスタンスについて問う。

子どもたちが高崎で育つて良かったと思ふ、保護者が高崎で子育てをして良かったと思ふ、また個人の人格を尊重し、一人一人に寄り添い、将来、高崎市の学校を卒業して良かったと思える教育を目指す。



青木 和也

群馬地域における有形・無形の文化財の保存と活用について

「史跡保渡田古墳群保存活用計画」に基づき、管理やメンテナンスに取り組んでいる。井出二子山古墳の周囲の堀部分については、「はにわの里・コスモスの会」に管理を委託し、秋には多くのコスモスが来場者を楽しませている。

金古諏訪土俵獅子舞などの無形民俗文化財の数と、指定手続きの流れは。

国指定はなく、県指定は榛名神社の神代神楽1件で、市指定は神楽2件、獅子舞19件、その他7件である。新たに市指定無形民俗文化財を指定する際は、職員による予備調査を行い、その後、民俗学の専門家が実地調査を行い調査書を作成する。これを文化財調査委員に諮問し、指定を可とする答申が出ると、教育委員会が承認し、告示する。

今後、本市の宝である各地域の有形・無形文化財の保護を市民と手を携えながら、着実に進めてもらいたい。

今後、本市の宝である各地域の有形・無形文化財の保護を市民と手を携えながら、着実に進めてもらいたい。



高橋 淳

高崎市におけるDXに関する取り組みについて

デジタル変革を推進し進めることによる、市民へのメリットは。

対面やオンライン対応を組み合わせて、住民に身近な場所や自宅でも様々な手続きが可能となり、窓口の多様・充実化が進む。作業時間の短縮など、住民の負担と職員の業務負担の軽減も期待される。

マイナンバーカードの空き領域の活用方法は。

マイナンバーカード1枚で様々なサービスの提供に活用でき、例として図書館利用券や出勤・入退室等の管理、端末やシステムへのログイン認証に利用することなどが考えられる。

人口減少時代において、職員数の減少が見込まれる。デジタル変革を推し進めることで、限られた人的資源を最大限に活用し、より質の高い行政サービスを提供してほしい。そのために、業務の内容やプロセスに関する詳しい知見と、デジタル技術全般に関する知識・スキルをもったデジタル人材の確保や育成も進めてほしい。

人口減少時代において、職員数の減少が見込まれる。デジタル変革を推し進めることで、限られた人的資源を最大限に活用し、より質の高い行政サービスを提供してほしい。そのために、業務の内容やプロセスに関する詳しい知見と、デジタル技術全般に関する知識・スキルをもったデジタル人材の確保や育成も進めてほしい。



白石 隆夫

新型コロナウイルス感染症5類移行後の本市のイベントについて

5類移行により、本市のお祭りやイベント開催の考え方、進め方などのような変化があったか。

5類に移行する以前から、その時々々の感染状況にに応じ、徹底した感染防止対策を講じながら、高崎だるま市や高崎まつり、大花火大会などを本市の重点観光政策として開催してきた。5類に移行してからは、イベントの規模や内容に応じて臨機応変かつ、柔軟に対策を講じて開催してきた。

文化・スポーツのイベントも多く開催されているが、開催状況はどうか。

既存の文化イベントもコロナ禍前と同様に開催され、出演者、観客ともに多くの人々が参加した。新規イベントとして、第1回たかさき太鼓祭りが行われ1万2千人以上の来場者を集めた。新規のスポーツイベントとしては、ITF女子ワールドテニスツアー「高崎オープン」が2週にわたり開催され、世界46カ国からプロのテニス選手がエントリーし、6千人以上が観戦に訪れた。



樋口 哲郎

有害鳥獣対策について

吉井地域における捕獲鳥獣の特徴は。

まずイノシシは、令和3年度は36頭、令和4年度は58頭、そして本年度は137頭となり、ニホンジカは、令和3年度は52頭、令和4年度は56頭、本年度は58頭で、ニホンザルの捕獲はない。

捕獲業務を実際に担っている実施隊の現状や課題は。

本市では、猟友会員のうち121名を実施隊員として任命している。実施隊の体制や役割を維持していく上で、頻繁にメンバーを変更することは難しく、高齢化も喫緊の課題である。引き続き、十分議論して実施隊と連携を図り取り組んでいく。

牛伏山を花で囲むプロジェクトについて

改めて計画の内容を聞きたい。

牛伏山を花で囲むプロジェクトは、新たに2万平方メートルを5カ年計画で整備し、四季折々の花木や花きを植え、多くの人々に立ち寄っていただけるよう整備する。また、地域住民やボランティアによる保全活動により、吉井の地域づくりの拠点としていけるよう計画している。



長壁 真樹

本市の農業について

農業従事者の平均年齢および新規就農者数、農地再生推進事業の実績は。

平均年齢は68・4歳で徐々に高齢化が進んでいる。平成30年から令和4年までに32人が新規就農されている。令和3年から現在までに荒廃農地から30・3畝再生されている。

所得向上を支援する制度の活用状況は。

農業者新規創造活動事業補助金の活用実績は6次産業化の取り組みが83件。ブランド化の取り組みが130件ある。

倉敷地域のメロン栽培、障害者農業就労施設の整備状況は。

今年度は木質バイオマスボイラーを導入し、ビニールハウスや管理棟兼作業棟の整備を行っている。令和6年1月下旬頃から9月頃まで試験栽培を実施する予定である。

農業政策において他市には例を見ない多くのメニューや支援が用意されているが、農業従事者の高齢化により5年、10年先に不安を感じる。令和7年3月末までに取りまとめられる「地域農業の将来の在り方および目標地図策定」に向け、これまで以上の取り組みをお願いしたい。

農業政策において他市には例を見ない多くのメニューや支援が用意されているが、農業従事者の高齢化により5年、10年先に不安を感じる。令和7年3月末までに取りまとめられる「地域農業の将来の在り方および目標地図策定」に向け、これまで以上の取り組みをお願いしたい。



渡辺 隆宏

本市企業への海外進出支援について

高崎ものづくり海外フェア事業について過去の実績とその後進捗について。

インドの製造業展示会への出展をきっかけに、日本企業の現地法人との商談が進み、インド国内に工場を設置してインドでの業績が伸びている企業があるほか、シンガポールの展示会でもつながった現地商社を通じて製品の販売ルートができ、商材の輸出が現在も続いている企業などがある。

海外展示会に初めて出展する企業もあることから、渡航前の出展者説明会において、ジェトロの本部から海外進出専門家を招き、海外展示会に望む心構えや注意点、商談に結び付けるための工夫など、具体的なアドバイスをした。準備を進めている。さらに商談が進み、製品の輸出に関する諸手続きなどの相談については、本市に所在するジェトロ群馬と連携し、より具体的な個社支援ができる体制を整えている。

企業の海外進出に伴うリスクヘッジへの取り組みや継続的フォローアップ支援について。

海外展示会に初めて出展する企業もあることから、渡航前の出展者説明会において、ジェトロの本部から海外進出専門家を招き、海外展示会に望む心構えや注意点、商談に結び付けるための工夫など、具体的なアドバイスをした。準備を進めている。さらに商談が進み、製品の輸出に関する諸手続きなどの相談については、本市に所在するジェトロ群馬と連携し、より具体的な個社支援ができる体制を整えている。



大河原 吉明

本市のヤングケアラーOSサービスについて

本市のヤングケアラーOSサービスの現状は。

ヤングケアラーが担っている家事等を支援するため、令和4年9月から全国に先駆けてサポーターの派遣を行っている。本サービスは、本市在住の中学生及び高校生、要望があれば小学生も対象としており、現在までの相談件数は100件を超えている。相談は、学校、保護者、子ども本人などから寄せられており、現在30人の子どもにサポーターを派遣している。

ヤングケアラーへより良い支援を行うために他機関との連携は。

ヤングケアラーへの支援を検討するワーキングチームは、対象となる子どもやその家族を支援している機関の担当者で構成されており、福祉部や学校、児童相談所などの関係機関と、速やかな連携体制が構築されている。子どもを取り巻く家族の問題を、関係する機関が集まって支援を考えることで、切れ目のない支援にしていく。

本サービスへの様々な人材登用などについても、研究してほしい。

本サービスへの様々な人材登用などについても、研究してほしい。

高崎自然歩道の全面改修始まる



そのような中、森林整備の財源として交付されている森林環境譲与税の有効な活用手段として、今年度を含めた5カ年での再整備が計画されている。

今年度の整備として、山名城址や根小屋城址の眺望を確保するために木々の伐採、自然歩道上の支障木や危険木の伐採、案内看板の更新、さらに、城山団地付近のシノ藪の整備などが予定されている。

また、来年度以降、山名城址や根小屋城址の展望デッキの改修や休憩スペースの設置、荒廃竹林の伐採整備や荒廃山林の間伐整備など計画されており、トイレの新設も検討されている

自然歩道が整備され、市民の皆様にとりましてより親しみのある歩道となり、本市の観光名所の一つとなるよう、新風会としても、今後も市と十分な協力体制を整えていきたいと考えている。

高崎自然歩道は、山名八幡宮の近くから少林山達磨寺まで続く全長約22kmの遊歩道で、市民の身近なハイキングコースとして利用されている。

ルート上には、「世界の記憶」に登録されている上野三碑の山上碑や金井沢碑、観音山ファミリーパークがあり、高崎白衣大観音や洞窟観音、染料植物園、ケルナー広場など本市の観光スポットなどにも気軽に訪れることもできる。

この高崎自然歩道は、区間が長いいため竹林が生い茂り、歩くのに整備が行き届いていない箇所などもある。また、本来なら山名城址や根小屋城址から、本市の素晴らしい眺望を望むことができるが、大木が遮り、その眺望を確認することはできない。



新風会所属議員一覧 ～市政に関するご相談はお近くの議員まで～

会長
柴田 和正
しばた かずまさ
高崎市金井淵町259
☎027-343-7161

副会長
石川 徹
いしかわ とおる
高崎市箕郷町東明屋106-1
☎027-371-3344

幹事長
白石 隆夫
しらいし たかお
高崎市石原町404-6
☎090-3234-0748

副幹事長
樋口 哲郎
ひぐち てつろう
高崎市吉井町馬庭827-1
☎090-3245-0195

政調会長
根岸 赴夫
ねぎし ゆきお
高崎市中中居町407-5
☎027-326-0635

議会対策委員長
後藤 彰
ごとう あきら
高崎市乗附町1563-27
☎027-328-5100

会計
大河原 吉明
おおかわら よしあき
高崎市京目町1634-6
☎090-9385-8680

広報
松本 賢一
まつもと けんいち
高崎市新町1652-5
☎090-6033-8421

会計監査
後閑 賢二
ごかん けんじ
高崎市塚田町222-2
☎027-373-2214

顧問
丸山 和久
まるやま かずひさ
高崎市江木町1111-1
☎027-323-8855

柄沢 高男
からさわ たかお
高崎市上里見町197
☎027-374-4304

渡辺 幹治
わたなべ かんじ
高崎市倉賀野町1684
☎027-346-6133

長壁 真樹
おさかべ しんじ
高崎市中室田町甲525
☎027-374-3384

高崎市議会副議長
大竹 隆一
おおたけ りゅういち
高崎市吉井町片山895-2
☎027-387-4390

青柳 隆
あおやぎ たかし
高崎市箕郷町下芝594-1
☎027-371-2870

高崎市議会議長
時田 裕之
ときた ひろゆき
高崎市浜川町
☎090-4948-4450

青木 和也
あおき かずや
高崎市福島町740-7
☎090-5442-8248

渡辺 隆宏
わたなべ たかひろ
高崎山下齊田町
☎070-3784-9871

高橋 淳
たかはし じゅん
高崎市山名町492-1
☎090-9019-7800

高崎市議会 新風会
〒370-8501
群馬県高崎市高松町35番地1
新風会ホームページ
<http://www.shinpukai.com/>

